



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月13日

上場会社名 日建工学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9767 URL http://www.nikken-kogaku.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 皆川 曜児  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 長濱 龍夫 TEL 03-3344-6811  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,745	△4.2	73	1.0	60	△1.8	30	△33.2
28年3月期第3四半期	7,039	19.7	73	△60.7	61	△70.8	45	△76.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 64百万円 (681.3%) 28年3月期第3四半期 8百万円 (△95.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	1.66	-
28年3月期第3四半期	2.48	-

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,136	2,344	28.8
28年3月期	8,148	2,389	29.3

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 2,341百万円 28年3月期 2,386百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	3.00	-	3.00	6.00
29年3月期	-	3.00	-	-	-
29年3月期(予想)	-	-	-	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,900	1.5	200	101.4	180	115.6	130	148.0	7.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は3ページ2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	18,622,544株	28年3月期	18,622,544株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	368,954株	28年3月期	365,224株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	18,255,223株	28年3月期3Q	18,259,352株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想の前提条件等に関する事項につきましては、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資に慎重な姿勢が強まり、個人消費の停滞や中国およびその他の新興国経済の成長鈍化、英国のEU離脱問題、米国大統領選挙結果等の影響により、円高が進行するなど、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループにおきましては、東日本大震災の復興事業における被災3県の海岸堤防、防潮堤工事に提供する製品の出荷は順調に推移いたしました。その他の地域における型枠貸与および製品の出荷は伸び悩みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、6,745百万円（前年同四半期比293百万円減）となりました。営業利益は73百万円（前年同四半期比0百万円増）、経常利益は60百万円（前年同四半期比1百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30百万円（前年同四半期比14百万円減）となりました。

事業別の売上高は、型枠貸与事業が1,134百万円（前年同四半期比58百万円増）、資材・製品販売事業が5,611百万円（前年同四半期比352百万円減）であります。

収益面では、型枠貸与事業の営業利益が90百万円（前年同四半期比88百万円増）、資材・製品販売事業の営業損失が17百万円（前年同四半期は営業利益70百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

## ①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,136百万円となり、前連結会計年度末比11百万円の減少となりました。

その主な要因は、商品及び製品の増加57百万円、現金及び預金の増加486百万円、受取手形及び売掛金の減少297百万円及び電子記録債権の減少276百万円等によるものであります。

## ②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は5,792百万円となり、前連結会計年度末比33百万円の増加となりました。

その主な要因は、借入金の増加447百万円、未払金の増加42百万円、設備支払手形等の増加によるその他流動負債の増加53百万円、支払手形及び買掛金の減少359百万円及びリース債務の減少159百万円等によるものであります。

## ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,344百万円となり、前連結会計年度末比45百万円の減少となりました。

その主な要因は、剰余金の配当等による利益剰余金の減少79百万円及びその他有価証券評価差額金の増加35百万円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	542,528	1,029,348
受取手形及び売掛金	3,809,357	3,511,600
電子記録債権	563,909	287,383
商品及び製品	1,945,540	2,003,326
原材料及び貯蔵品	4,341	7,438
繰延税金資産	3,700	3,700
その他	149,798	199,129
貸倒引当金	△9,530	△10,040
流動資産合計	7,009,645	7,031,885
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	520,444	367,611
建設仮勘定	9,100	9,100
その他（純額）	148,417	221,905
有形固定資産合計	677,962	598,616
無形固定資産	19,961	18,132
投資その他の資産		
投資有価証券	265,025	302,294
長期貸付金	76,500	76,500
その他	321,237	333,710
貸倒引当金	△222,234	△224,576
投資その他の資産合計	440,527	487,928
固定資産合計	1,138,451	1,104,677
資産合計	8,148,097	8,136,563
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,581,081	3,221,340
短期借入金	900,000	1,137,060
1年内返済予定の長期借入金	153,636	254,700
未払金	108,028	150,391
リース債務	272,131	204,532
未払法人税等	10,654	23,592
その他	78,897	132,072
流動負債合計	5,104,429	5,123,690
固定負債		
長期借入金	292,572	401,499
リース債務	271,766	179,390
繰延税金負債	739	2,584
退職給付に係る負債	67,403	63,586
その他	21,436	21,436
固定負債合計	653,917	668,497
負債合計	5,758,347	5,792,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,427	1,004,427
資本剰余金	541,702	541,702
利益剰余金	881,455	802,135
自己株式	△62,797	△63,406
株主資本合計	2,364,788	2,284,859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,699	57,123
その他の包括利益累計額合計	21,699	57,123
非支配株主持分	3,261	2,392
純資産合計	2,389,749	2,344,374
負債純資産合計	8,148,097	8,136,563

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	7,039,697	6,745,922
売上原価	5,856,178	5,583,349
売上総利益	1,183,519	1,162,573
販売費及び一般管理費	1,110,418	1,088,760
営業利益	73,101	73,812
営業外収益		
受取利息	319	864
受取配当金	5,966	8,890
受取保険金	—	3,000
たな卸資産処分益	581	1,399
貸倒引当金戻入額	397	—
為替差益	—	19
その他	2,849	1,199
営業外収益合計	10,114	15,372
営業外費用		
支払利息	12,483	16,523
支払手数料	6,268	5,006
為替差損	440	—
手形売却損	2,357	4,091
その他	—	3,000
営業外費用合計	21,549	28,621
経常利益	61,665	60,563
特別利益		
固定資産売却益	790	—
投資有価証券売却益	17,615	—
特別利益合計	18,405	—
税金等調整前四半期純利益	80,071	60,563
法人税等	34,729	31,217
四半期純利益	45,341	29,346
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	133	△869
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,207	30,216

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）
四半期純利益	45,341	29,346
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,052	35,424
その他の包括利益合計	△37,052	35,424
四半期包括利益	8,289	64,770
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,155	65,640
非支配株主に係る四半期包括利益	133	△869

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,076,343	5,963,354	7,039,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,076,343	5,963,354	7,039,697
セグメント利益	2,344	70,756	73,101

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	73,101
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	73,101

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	型枠貸与事業	資材・製品販売事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,134,727	5,611,195	6,745,922
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,134,727	5,611,195	6,745,922
セグメント利益又はセグメント損失(△)	90,930	△17,118	73,812

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	73,812
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	73,812

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。